



**カケハシ・プロジェクト（米国・カナダ）
日本語弁論大会成績優秀者招へい（米国）
日本語学習者招へい（カナダ）の記録**

1. プログラム概要

【目的】米国の日本語弁論大会成績優秀者及びカナダの日本語学習者が来日し、ホームステイや学校交流、視察等を通じて日本の社会、文化、歴史及び外交政策などについて理解を深めるとともに、日本の魅力を積極的に対外発信し、日米加関係強化のため活躍いただくことを主目的として実施しました。

【参加者】米国の日本語弁論大会成績優秀者及びカナダの日本語学習者大学生 計 26 名
（内訳）米国 16 名、カナダ 10 名

【訪問地】東京都、神奈川県、静岡県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

1 月 16 日（火曜日）【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等
来日までの指定期間【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

1 月 21 日（日曜日）羽田空港または成田国際空港より入国

1 月 22 日（月曜日）【視察】鶴岡八幡宮

【視察】鎌倉大仏殿高德院、長谷寺

1 月 23 日（火曜日）【視察】麻布台ヒルズ

東京都から静岡県へ移動

【ホストファミリー対面式】

【ホームステイ】静岡県榛原郡川根本町 5 家庭

1 月 24 日（水曜日）【ホームステイ】

1 月 25 日（木曜日）【ホームステイ】

静岡県から東京都へ移動

【学生交流】NPO 法人 MIS (Multilateral International with Students)

【表敬訪問】首相官邸 内閣官房副長官 村井 英樹 氏

1 月 26 日（金曜日）【講義】「日本及び横浜での就労について（高度外国人材の呼び込みについて）」

講師：横浜市 国際局国際政策部 国際連携課 アジア大洋州担当係長

古西 康朗 氏

【視察】横浜港

【学校交流】アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）

1月27日（土曜日）【視察】深川江戸資料館、清澄庭園

【視察】秋葉原（日本電化製品技術の視察）

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

1月28日（日曜日）【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

羽田空港または成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム：



1月22日【視察】長谷寺



1月23日【視察】麻布台ヒルズ



1月23日【ホームステイ対面式】



1月24日【ホームステイ】



1月25日【表敬訪問】首相官邸 内閣官房副長官 村井 英樹 氏



1月26日【講義】横浜市 国際局国際政策部 国際連携課

	
1月26日【視察】横浜港	1月26日【学生交流】アメリカ・カナダ大学 連合日本研究センター（IUC）
	
1月27日【視察】深川江戸資料館	1月27日【視察】清澄庭園
	
1月27日【ワークショップ】	1月28日【報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 米国 大学生

ホームステイが最も印象に残りました。もしかしたら東京でのプログラムとの対比が理由かも知れませんが、地方での体験から学び、さらに大都市から離れた地域社会が抱える人口問題などの社会的問題についても多くを学びました。住民のみなさんは我々を歓迎してくださり、昔から伝わる素晴らしい民話を話してくれました。また、ホストファミリーと深く実直な会話から、私たちとの類似点・相違点について学ぶことができました。

◆ 米国 大学生

訪問で最も感銘を受けたのはホームステイでした。以前は全く気づくことのできなかった日本の特定の地域や多くの事を知ることができました。一緒に料理をして、グループの絆を深めることができました。ホストファミリーのおもてなしは素晴らしいとしか言いようがなく、一生心に残る体験となりました。

◆ 米国 大学生

神社、仏閣、歴史的景観など日本の歴史が残る場所に最も感銘を受けました。今まで、古い由緒ある史跡を訪れたことがありませんでした。さらに、街中の木々や植物が美しく手入れされているのを見るのが本当に大好きでした。

◆ カナダ 大学生

IUC 学生との交流で最も印象に残ったのは、学生たちが各自の学習と日本語の勉強に本当に熱心に取り組んでいるということです。また、質問に答えるために丁寧に準備していただき、テーマについて素晴らしく知識が豊富だったことも非常に印象的でした。

◆ カナダ 大学生

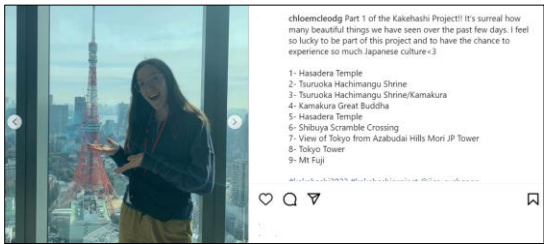
ホームステイ、歴史的文化遺産訪問、NPO 法人 MIS の学生交流を楽しみました。ホームステイは、伝統的な日本の家庭、食事、文化を体験することができ、素晴らしい経験でした。これはこのプログラムでしか経験できないことです。文化遺産はとても美しく、よく整備されていました。NPO 法人 MIS の学生たちと交流中に話すのも楽しかったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー

本当に日本の事、言葉もしっかり学ばれておられたので感心しました。餅つきや和太鼓など積極的にトライされていたので嬉しかったです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

	2024 年 1 月 23 日（Instagram）米国 カケハシ・プロジェクト第 1 弾！ここ 2～3 日で、信じられないくらい、美しいものにたくさん出会えました。本プロジェクトに参加して、日本文化をたくさん体験できるということは、とても幸運です。長谷寺、鶴岡八幡宮、鎌倉、鎌倉大仏、渋谷スクランブル交差点、麻布台ヒルズ森 JP タワーからの東京眺望、東京タワーなど。
	2024 年 1 月 23 日（Instagram）米国 こんにちは、みなさん。今、みなさんと情報を共有したくて、大興奮しています。今、日本で対日理解促進交流プログラムに参加しています。プログラムは、日本政府が実施するカケハシ・プロジェクトというもので、日本文化の多様な側面を訪問して学習することになっています。 例えば今日のプログラムは全て日本の歴史文化に関するものでした。東京から車で南に約 1 時間のところにある、多くの神社仏閣で有名な都市である鎌倉を訪問しました。まず、鶴岡八幡宮を訪問し、そこで神道の簡単な歴史と社殿での正式な参拝の作法を

	学びました。 次に鎌倉大仏殿高德院を訪問しました。「だいぶつ」とは大きな仏陀という意味で、即ち本院には巨大な仏像が存在しています。座像とはいえ、私の身長6～7倍はあると思われ、強烈な印象です。さらに大仏殿は、鎌倉のランドマークの中で、最も有名な建物です。 最後に長谷寺ですが、街を見下ろす急峻な丘の上に立つ華やかな建物です。そこには、数千体の地蔵と呼ばれる4～5センチから1メートルほどの高さの像で埋め尽くされていました。亡くなった子供たちの魂を表しており、行方不明の子供たちや、危険にさらされている子供たちを守るものと言われています。 他にもお店など、ここで立ち寄った素敵な場所の写真はたくさんあります。もっと興味があるのであれば、ストーリーに幾つかアップロードします。 さらに街中の道路標識、ポスターの写真もたくさん撮りました。それらを読んで理解するのが楽しいです。「理由」「禁止」「掲示」など使いやすい日本語を見つけて覚えました。(もちろん「鎌倉」もです)
	
2024 年 1 月 22 日 (Facebook) カナダ大仏と長谷寺の美しい景色。 鎌倉でこのような素晴らしい景色と日本の仏教に触れてとても印象深いです。	2024 年 1 月 24 日 (Facebook 等) カナダつり橋を渡ります。 技術に感服します。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、神奈川県、静岡県（全4グループ発表）

グループ A 米国①	グループ B 米国②
	
【訪日中の学び】 ・横浜港などに見られる、先端技術を活用した創意工夫に感銘を受けました。 ・清潔さの維持、整然とした秩序などに見られる、地域社会および規律正しさを大切にする日本人の姿を知ることができました。 ・ホームステイや出会った日本人に見られる、尊敬と思いやりをもって訪問者と接する日本人の好意とおもてなしの心に感動しました。 【プログラムでの経験を将来のキャリアにどのように活かすか】 ・日本語の勉強を継続します。 ・IUC との交流を継続します。 ・再来日し、ALT（外国語指導助手 Assistant Language Teacher）として勤務します。 ・日本に留学します。 ・宇宙産業で日本人技師と一緒に働きます。 ・2～3 年、JET プログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業 The Japan Exchange and Teaching Program）に参加します。 ・日本で就職します。 ・生涯、日本で暮らします。 【アクション・プラン】 1. プログラムの動画を作成し、2024 年 3 月 9 日のジョージア日本語弁論大会で発表します。 2. 大学の日本語学科でセミナーまたは発表を	【訪日中の学び】 神社仏閣などの文化遺跡が近代都市に溶け込み一体化しています。便宜性の高い社会で、鉄道網など公共交通システムが発達しており、バラエティに富んだ食べ物を入手しやすいです。また、街の美しい景観が素晴らしいです。 【プログラムでの経験を将来のキャリアにどのように活かすか】 ・継続して日本語を勉強します。 ・日本へ留学します。 ・別のプログラムで再訪日します。 ・JET プログラムに応募します。 ・日本で就職します。 ・日本語能力試験（JLPT）に合格します。 ・日本への個人旅行を計画しています。 ・漫画などメディアの翻訳をします。 ・詩や物語などを執筆します。 【アクション・プラン】 ・2024 年 2 月 3 日、大学内のオンラインミーティング、SNS、地元紙などで、カケハシ・プロジェクトを通して学んだ日本の魅力を発信します。 ・参加者は、各大学の日本語コースの学生や日本文化倶楽部のメンバー、日本文化に関心のある学生や家族・友人などを対象に、カケハシ・プロジェクト、日本への留学、訪日旅行を勧めます。

行います。記事を作成し、地元紙のサイトに掲載します。 3. 日本文化倶楽部のメンバーを対象にカケハシ・プロジェクトで得た経験を発表します。 4. 日本語の広告、道路標識、ポスターなどを翻訳し SNS に投稿します。 5. 私が日本語を勉強し始めた高校の生徒を対象に Vlog を使用して情報発信します。	
グループ C カナダ①	グループ D カナダ②
	
【訪日中の学び】 社会の中の決まりを皆が守っていることです。公共の場では、他者への配慮がされています。社会構造が、効率的で便利な社会と感じました。また、静岡県川根本町のみならず日本中で少子高齢化が進んでおり、特に地方では、地元で働ける職が少ない為若者は都心に移住し、高齢者が多くの割合をしめていることを学びました。 【アクション・プラン】 ・自分の友人、家族、日本に興味のある人や日本語を勉強している人などにカケハシ・プロジェクトの経験を伝えます。 ・大学で日本紹介イベントを開催し、ビデオや映画などで、体験や情報を共有します。 ・SNS に日本の旅の情報を投稿します。日本語を学びたい人を対象にオンラインのコミュニケーションサイトを立ち上げるなど、日本に関する情報を発信していきます。	【訪日中の学び】 日本は便利で時間に正確でコンビニエンスストアが至る所にあり、必要なものはいつでもどこでも揃っています。自動販売機もバラエティ豊かな商品が並んでいます。 【サービス文化の学び】 日本人の対応はとても丁寧で感心しました。販売店員、レストラン、ホテルなどチップ制度がないにもかかわらず人々はとても丁寧です。「丁寧」は日本文化の考え方のなかに深く根付いているように感じました。 【アクション・プラン】 ・帰国後、直ちに自分の大学でカケハシの写真と共に、日本の情報、カケハシ・プロジェクトについて友人や日本語学習者、日本のアニメなどに興味のある人たちに共有します。 ・大学のクラスでプレゼンテーションを行い、自分の日本での体験を話したいと思います。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）